

～平成27年度さんやほうサポーター募集～

特別純米酒「さんやほう」の米づくり

一緒に農作業をしましょう！

関市のこだわりの地酒“特別純米酒「さんやほう」”の原料米となる「みのにしき」を、農薬・化学肥料を使わないで栽培して、農業や環境のことを考えてみませんか。

ご賛同いただける人たちで、田植えや草取りなどの農作業を一緒に行いながら、稲の生長と収穫を楽しみ、特別純米酒「さんやほう」も味わいます。

- <主催> さんやほうサポータークラブ
<協力> 小坂酒造場
<場所> 関市黒屋字尾太下
(JAめぐみの かつり-Ilバ-ター西) 約63a
<会費> 1,500円(通信費、保険代など)



<活動計画>

【行事名】	【日時】	【ポイント】
①田植え	5月31日(日) 9:00～	△
②米ぬか散布	5月31日(日) 10:30～ <雨天順延>	◎
③草取り	6月21日(日) 8:00～	◎
④草取り	6月28日(日) 8:00～	◎
⑤生き物調査	7月26日(日) 8:00～	△
⑥ヒエ切り	8月30日(日) 16:00～	◎
⑦ヒエ切り	9月13日(日) 16:00～	◎
⑧稲刈り	10月3日(土) 13:30～ <雨天順延>	△
⑨洗米体験	12月 下旬	△
⑩新酒を味わう会	3月 上旬 (別途参加費)	—

◎農作業 2P △イベント 1P

<特典>

活動の参加実績によりポイントを付与し、合計ポイントに応じて次の特典があります。

◎印の農作業に中学生以上の方が加われば1ポイント加算。

- ① 6P未満 ポイント分の本数だけ酒(原酒・生酒の計)を杯-ター価格で購入できます
- ② 6P以上 原酒(720ml)×12本、生酒(1.8Lか720ml)×6本まで杯-ター価格で購入できます
- ③ 12P以上 原酒1本進呈
- ④ その他 収穫したお米、スイーツなどの注文も承ります。

◆◆原酒はサポーターのみ限定販売となります◆◆

<問合せ・申込み> さんやほうサポータークラブ事務局 山下 Tel 090-2268-5446

サポーター申込書

年 月 日

氏名		住所	〒
電話番号	— —	メール	
会費納入	月 日	備考	

みのにしき仕込みの純米酒「さんやほう（山野豊）」

みのにしき

昭和58年に関市小瀬にて尾関二郎氏が、岐阜県の銘柄米「ハツシモ」を「ニホンマサリ」に交配し、民間育種として登録された貴重な品種です。

「ハツシモ」より栽培しやすく、極大粒で食味も良く、清流長良川水系の関市を中心に約220ha（2013年）栽培されている地域特産米です。

山野豊（さんやほう）

倉知祭りの囃子詞（かけ声）で、「五穀豊穰」を願い、祭りの日には至る所で囃されます。

農民が自然を慈しみ、その恩恵として米作りを行える事に感謝する想いが込められていると思われます。環境保全が叫ばれる現在、あらためてこの言葉の意義を、生産者と消費者で感じる事が大切だと考え、清酒名に用いました。

倉知祭り

江戸時代初期、倉知村領主村瀬平四郎（むらせへいしろう）は、村に寺を創建したり、干ばつ時の年貢を免除するなど領民に対する功績が高く、その死後の寛永11年（1634年）農民が命日にその徳を慕って供養を行うとともに、「五穀豊穰」を願い祭りが始まりました。

祭りは、上の白山神社と下の鞍知神社からそれぞれ祭り場まで御輿を担ぎだし、祭り場では、二基の御輿が押し合い、せり上げ、倒し込むという勇壮な様子で、ここから奇祭「けんか祭り」ともいわれています。

この御輿の押し合いの由来は、一説には、地域の灌漑用水の順序決めともいわれますが、豊作を願う陰陽二気の和合を象ったものであるといわれます。